



わき 脇れい子

藤沢市議会議員

2018年6月

だより

人が
活きる
まち!!

HP : wakireiko.jp

E-mail : reich0513@yahoo.co.jp



討議資料

発行：脇れい子と手をつなぐ会 〒251-0047 藤沢市辻堂5-20-11 Tel/Fax : 0466-35-0762

立憲民主党入党

来年の統一自治体選挙で、神奈川県会に挑戦します!

私、脇れい子は2011年、皆さま方の大きなお力添えて、藤沢市議会に送っていただき、「人が活きるまち」「人権尊重のまちづくり」を柱に、当事者の視点、女性の視点を忘れることなく、様々な施策に真摯に取り組み、おかげ様で成果をあげることができました。

ただ、市政に取り組む中で、県の施策、国の施策に繋がるものももちろん多く、財政を含め、市政の課題解決には、県の施策に踏み込まなければならないことを強く実感してまいりました。そのような中、地元のあべともこ衆議院議員から、「次は県会で頑張ってください」と声を掛けていただきました。私自身、藤沢市議会でも取り組む課題はまだ多くありますし、悩み考え抜きましたが、藤沢市の課題解決のためにも、県会で頑張ってください藤沢の施策の充実につなげたいとの結論に至り、立憲民主党に入党、県会に挑戦する決意を固めました。

6月1日に、立憲民主党の第一次公認候補者が決定し、私も県会で、公認の新人候補者となりました。

県会にもまず、一人でも多くの女性議員が必要です。平和・環境・子育て・教育・高齢者・障がい者施策など、当事者の視点、女性の視点で取り組む課題はたくさんあります。ステージを藤沢市から神奈川県に移し、草の根からの民主主義を実践し、国、県、市との連携をしっかりと果たすべく、頑張ってください。

以上、報告とはなりますが、ご理解をいただき、今後ともこれまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



家庭教育支援法制定を求める意見書提出について、 反対討論を行いました

家庭教育支援法の制定を求める意見書提出に関する陳情が提出され、2月22日開催の子ども文教常任委員会で審議がされ、趣旨了承となり（賛成6・反対2）、本会議最終日に議会議案として、家庭教育支援法の制定を求める意見書が上程されました。

自民党が成立を目指す、家庭教育支援法は、国が支援について決め、学校、地域、家庭などが協力をするという上からの構図をつくり、国がこうあるべきという教育を押し付けるもので、家庭教育に公権力が介入する恐れがあります。個人の尊厳や婚姻の自由、男女平等をうたう憲法24条の思想を否定するものでもあり、また、社会保障費が膨らむ中で、家事、育児、介護にかかる社会保障を「家族を大切に」や「家族の絆」の言葉のもと「家族」に押しつけ、抑制を図る目的もあるのではないのでしょうか。

もちろん家庭教育を支援することは必要なことですが、家族の在り方が多様化している今、家庭教育を応援するために国がやらなければならないことは、男女の労働環境の整備やワークライフバランスの推進、子どもが安心して育つ環境整備や相談体制の充実などです。そして何より子どもの最善の利益を第一に、すべての子どもたちの未来を保障することだと思えます。

この議案は、賛成18、反対16で残念ながら可決されてしまいました。私は藤沢市議会として、このような意見書提出に至ったことは大変遺憾なことであり、憂慮すべきことだと思っています。
(2018年2月議会最終日)

毎月1回程度、ざっくばらんにお話をする「おしゃべり会」を開いています。
市議会の報告やこれからの藤沢市、神奈川県について、皆さんと一緒に話をしたいと思います。
ご意見やご要望などもお寄せください。(8月はお休みです)

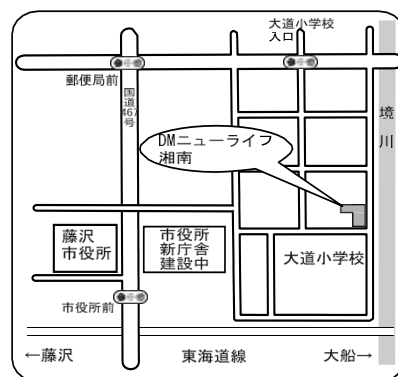
お気軽にどうぞ

脇れい子のおしゃべり会

日時 6月27日(金) 14時~15時30分
7月25日(水) 10時~11時30分
場所 脇れい子市民相談室

藤沢市朝日町4-15DMニューライフ湘南1-A
電話：080-2083-6701

※出入り自由、お子様連れ可



藤沢市議会議員

わき
脇れい子

☆経歴

1957年辻堂生まれ
藤沢市立高砂小学校卒
藤沢市立湘洋中学校卒
神奈川県立平塚江南高等学校卒
日本女子大学文学部史学科卒

☆現在

立憲民主党公認
藤沢市議会議員2期目(民主クラブ)
女性会議神奈川県本部 議長
全国フェミニスト議員連盟 事務局
自治体議員立憲ネットワーク 会員

